

SINRO DAYORI 進路だより



いわき光洋高等学校
進路指導部
令和3年12月16日(水)
第5号発行



国公立の全大学、私立大学の9割が採用している『大学入学共通テスト』まで、いよいよ残すところ30日となりました。本校でも大学進学希望者は全員出願しています。出願したみなさんはこれから本当に最後の追い込みになります。最後まで諦めず、手を抜かずに取り組むことで活路が見いだせます。一日一日を大切に頑張りましょう。尚、今回は共通テストについての情報や注意点をまとめましたので参考にしてください。そして心身ともに万全な体制で入試に臨むことができるよう祈っています。また、1・2年生は、この時期の臨場感を感じ取って進路を固め、来年・再来年に向けた展望を描いて欲しいと思います。

◎2022年 大学入学共通テストのスケジュール

1月15日(土)	本試験1日目(地歴公民・国語・外国語)
1月16日(日)	本試験2日目(理科1・数学1・数学2・理科2)
1月17日(月)	自己採点
1月19日(水)頃	自己採点結果通知 一出願検討
1月22日(土)	追試験1日目
1月23日(日)	追試験2日目
1月24(月)～ 2月2日(水)	個別(2次)試験出願



★共通テスト★ ～過去問や予想問題で実践演習！目指せ得点率70%！～

残り30日でできる量は限られています。だったら、その限られた量を100%こなしたら良いではないですか！たかが30日、されど30日、やれることはいくらでもあります。とすることで、ここからは各教科担当者からの最後のワンポイントアドバイスになります。

■英語：スタディサプリ「共通テスト対策講座」や共通テストの本試験・予想問題でひたすら演習

【リーディング】

- ① 毎回、第1問～第6問の「問題形式」と大問ごとの自分の得意・不得意を把握し、各大問の「解答時間」と「正解率」を記録して、試験時間80分の時間配分と解く順番を決めること。
- ② 間違いやミスの原因を毎回きっちり分析し、防止策を立てること。
- ③ 本文と正解選択肢で、言い換えられている語句をチェックすること。



【リスニング】

- ① 週に1回30分、共通テスト形式の問題(スタディサプリ「共通テスト対策講座(リスニング編)」など)の演習をルーティンに、30分間集中力を切らさないスタミナを作る。
- ② 問題演習の後は聞き取れなかった部分を、スクリプトを見て確認する。
- ③ 音源を聴きながら、モノマネ音読(オーバーラッピング)を行いネイティブのスピードに慣れる。

■数学：典型問題で短時間に得点する技術・高難度の問題の着眼点に気づく訓練を積む

- ① 問題集『短期集中ゼミ』で繰り返し練習を行い、「解答時間」をチェックして、典型問題を正確にもたつくことなく解き、時間内に得点する技術を磨く。
- ② 難度の高い問題は、『問題文のどこを使って解くか』『条件は何か』『何に着眼して解くか』を毎回メモする習慣を付ける。
- ③ 正解・不正解だけでなく、『時間のかかった典型問題』『設問の意図や条件を見落とした問題』『着眼点に気づけなかった問題』『忘れていた公式や定理』をきちんと記録する。
- ④ 予想問題や共通テストの過去問を制限時間内に終わらせる訓練を積む。

■国語：受験する大学の必要科目・配点を踏まえ、得点しやすい古文・漢文を中心に学習計画を練る

- ① 国語の学習時間は、文／理別等自分の試験科目・配点に応じて他の教科との配分を考え、適切なルーティン（週〇回・問題演習80分＋分析80分など）を組む。
- ② 古文漢文含む過去問・予想問題などを通して80分で解く練習を繰り返し、最も効率的に得点を稼げる「解く順番」と「時間配分」の戦略を練る（基本は得点しやすい古文・漢文から先に解く）
- ③ 設問→文章の順に読む、段落や接続詞のマークを付けて読む、古文の主語補完など国語の問題を解く基本的なスキルをもう一度確認し、確実に習慣化する。

■地歴公民：毎日の授業を大切にすることが高得点への第一歩です！☒

【日本史】

共通テストの過去問（課外のテキストで十分）を何度も繰り返し行うこと。その際に注意すべきことは、

- ① 正誤問題の場合、なぜその選択肢が誤っているのかをきちんと説明できるようにすること。
- ② 時代順並べ替え問題の場合、文化史以外は、年号の暗記ではなく、因果関係を説明できるようにすること
文化史はそれぞれの選択肢がどの文化に該当するのかわかればよい。

★最後まで諦めず、頑張り抜いた者だけが共通テスト高得点という結果を残すことができる。自分を信じよ！

【世界史】

日本史と同様で、課外のテキストの問題集を何度も繰り返し行う。

- ① 正誤問題の場合、なぜその選択肢が誤っているのかをきちんと説明できるようにすること。
- ② 同時代史は、課外で取り扱っているプリントの表面を参照しながら、間違えた問題を復習すること。

★次の考査の範囲も今授業で扱っている戦後も全て共通テストや私立大学入試の範囲です。授業中に集中して覚える気持ちで取り組みましょう。

【地理】

- ① 「基礎的な知識をインプット→その知識を使って問題演習でアウトプット」これを何度も繰り返し、「この問題は解けるぞ」というものを増やしていく。
- ② 取り組むのは、「共通試験形式の問題（旧センター形式の問題）」で、そこからインプットすべき知識を引き出していけばよい。間違った時こそが、最大のチャンスである。
- ③ 勉強を進めれば、最後まで点数は上がり続ける。まだ30～40点くらいだとしても、あと1か月で、70点80点までいける。心折れるな。

【例題】シェンチェン（深圳）、シャンハイ（上海）、テンチン（天津）、ホンコン（香港）のいずれかのもの
であるが、シェンチェンについて述べたものを選びなさい。（04年センター試験）

- A 経済技術開発区をもつ直轄市で、首都の外港として機能している。
- B 中国の特別行政区で、国際的な金融センターとして機能している。
- C 中国最大の商工業都市で、外国資本を導入した開発が進展している。
- D 経済特区に指定され、工業化と市街地の拡大が急速に進んでいる。

正解：D 「シェンチェンは経済特区」という知識があれば解ける。そこだけ探す。



■理科：基礎科目は目指せ40点以上！本編科目は70%以上を目標に！

【物理】

- ① 大前提として、基本的な物理法則や物理量の定義を理解し記憶しておくことが必要。
- ② 実験に関する問題が出題される可能性があるので、教科書の「実験」や「探究活動」に目を通しておく
- ③ 問題文が長い可能性があるため、情報を素早く表にまとめたり、図におこしたりする習慣を身に付ける
- ④ 過去問や予想問題の演習を徹底的に行い、弱点を補強しておく。

【化学】

- ① 共通テストでも典型問題が出題されています。素早く解けるようにしましょう。
- ② 理論分野は状況をイラスト化して解きましょう。図にすることで非常に解きやすくなります。
- ③ 無機物は理論分野の知識をベースに覚えていきましょう。ただし、色や臭い等物質固有にもつ性質は覚えるしかありません。
- ④ 有機物は官能基のもつ反応性がポイントです。反応のしかたと構造が結びつけられれば、その有機物の構造が理解できるはずですが。



【生物】

- ①生物基礎：残り1ヶ月ですから、基本的には演習問題・過去問の実施と誤りの見直しのみです。穴を見つけて埋めていく形になります。理系の人は教科書、文系の人は授業で用いているテキストと教科書で十分です。基礎知識は年末に確認したいと思います。
- ②生物：生物の30%程がデータの読み取りから答えを導くものです。難易度は何ともいえませんが、これに対する対策はあまりありません。どんな内容でもしっかりと読み取ろうとすることが必要です。時間との勝負ですので、知識確認問題は短時間で終わらせ、読み取りに時間をかけるべきかと思います。基本的な知識のおさらいは不可欠です。リードノート書き込み部分の見直しを勧めます。

【地学】

やはり基礎が肝心です。教科書や問題集、過去問で復習し、穴を埋めていきましょう。さらに、定着させた基礎的な知識を関連付けていくと、解ける問題の幅が広がります。

★国公立大・個別試験★ ～併願プランを立て、赤本で対策を！～

共通テストが終わると、国公立大は、前期日程・中期日程／別日程(公立大のみ)・後期日程の個別試験が行われます。これらの受験機会を最大限に活かして併願プランを立てましょう。個別試験の対策は、大学ごとに異なります。受験する大学の募集要項と共に『赤本』を入手し、出題傾向を掴みましょう。

■2022年 国公立大一般選抜日程のスケジュール

	前期日程	中期日程(公立大)	後期日程
1月24(月)～ 2月2日(水)	個別(2次)試験出願		
～2月9日(水)	第1段階選抜の結果発表	↓ 第1段階選抜の結果発表	↓ 第1段階選抜の結果発表
～2月19日(土)	↓		
2月25日(金)～ ～2月28日(月)	前期日程試験	↓ 公立大中期日程試験	↓ 第1段階選抜の結果発表
3月6日(日)～ 3月10日(木)	合格者発表 ※公立大前期は3月1日～		↓ 後期日程試験
3月8日(火)以降 3月12日(土)以降	↓		↓
～3月15日(火)	合格者 入学手続き	↓	↓
3月20日(日)～ 3月23日(水)		合格者発表	合格者発表
～3月15日(火)		合格者 入学手続き	合格者 入学手続き
3月28日(月)～		追加合格者発表・欠員補充・第2次募集出願受付・試験	

★私立大 一般選抜★ ～多種多様な選抜方式をうまく活用しよう！～

私立大の一般選抜は、大学によって多種多様な選抜方法があり名称も異なりますが、大きく分けて『独自入試』『共通テスト利用入試』『共通テスト・独自併用方式』の3種類の選抜方法があります。大学のHPや募集要項で日程や選抜方法を確認して、併願プランを立てましょう。受験する大学の募集要項と共に『赤本』を入手し、出題傾向を掴みましょう。

◆すべては大学の募集要項を取り寄せることから始まる

私立大学受験は、まず志望する大学の募集要項を取り寄せることから始まります。(私立大学の募集要項は、各大学とも11月までには取り寄せ可能となります) 募集要項には、各大学の最終的な募集の詳細が書かれています。特に、選抜方法については、大学によって様々な日程・試験会場・募集人員・試験科目(共通テスト利用含む)・配点などが設定されており、各自、模試の判定、共通テストの自己採点、受験スケジュール等を考慮の上、適した選抜方法を選び、併願プランを立てましょう。また、共通テスト利用の私立大学の出願については、共通テスト前に出願する場合と共通テスト後に出願する場合では、難易度が異なりますので要注意です。



～一般入試で挑戦する受験生たちへ～



共通テストまで1ヶ月を切った今、焦りや緊張感、大きな不安を抱いている人が多いかと思います。一般入試で勝負をする人にとっては一番心が揺れ動く時期です。あと1ヶ月で何ができるのだろうか？これから学力は伸びるのだろうか？今やっていることは本当に意味があるのだろうか・・・？しかし、悩んでいる時間はありません。今は真っすぐに進むしかないので。教室にいますと、周りからは進路決定をした人たちの様々な雑音が聞こえてきます。うらやましいと感じる部分もあるかと思いますが、人は人、自分は自分と割り切って進むしかありません。授業中の演習、課外授業、自分で学習、とにかくやれるだけやりましょう。その結果、目標が達成されたならば、その喜びは総合型選抜や推薦型選抜による合格の比ではありません。また、一般入試で受験を突破できれば、今後の人生の大きな自信に繋がります。今は、とにかく前だけを見て頑張らしましょう。但し、体調を壊しては元も子もありません。貴重な時間を無駄にすることになります。最低限の睡眠時間（5時間）と食事には留意してほしいと思います。最後まで頑張るみなさんを最後まで応援します、サポートします！



～進路決定(内定)をした人たちへ～



早期に進路が決まったということで、もう自分の今年度は終わったというような感じになっている人も多く見受けられますが、大丈夫でしょうか？進路が決定してから早い人では約2ヶ月近く経つかと思います。その間、授業には真剣に取り組んでいたでしょうか？もう決まったから関係ないという感じで、授業中に居眠りしたり、起きてはいるものの座席にいるだけだったり、課外授業を欠席したりと、気の緩んでいる人たちが多く見受けられます。これから一般入試に向けて必死で頑張っている人にとっては、非常に迷惑な存在です。もちろん、内定した人の中には一度も課外授業を休むことなく、少しでも学力を身に付けて卒業しようと頑張っている人たちもいます。本来、早期決定者の全てがそのようなあるべきだと思いますが、残念ながらそういった人たちは、わずかです。最後まで手を抜かずに頑張ることを条件に推薦や指導をしてもらったはずなのに、何か大きな約束を反故にされた感じさえします。推薦に値する人物として最後まで頑張った上で卒業してほしいと思います。どんなに先生方が皆に促しても、残りの時間をどのように過ごすかは一人一人の心構えにかかっています。適当に遊んで過ごした場合、4月以降に一般入試で入学してくる同級生たちとは大きな学力の差が生じていることでしょう。総合型選抜や学校推薦型選抜で入学してくる生徒の学力が低いと言われることの無いように、各自緊張感を持って4月以降に備えて下さい。



次回予告 第6号は1月15・16日の大学入試共通テストを振り返ります。1・2年生向けの内容が中心となります。発行は2月中旬を予定しています。また、3年生の先輩方の進路決定状況についてもお知らせする予定です。